

令和6年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%					○
算数	63.4%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%					○
情報の扱い方に関する事項	86.9%					○
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%					○
書くこと	68.4%					○
読むこと	70.7%					○

【考察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、高い正答率となりました。漢字や主語と述語の関係など、基本的な知識・技能が身についています。
- 「読むこと」の領域では、物語の内容を描写を基に捉えたり、人物像や物語の全体像を想像しながら読んだりすることができています。授業で、教材文を読み、自分の考えを書いたり、友達と話し合ったりする活動をさらに続けていきます。また、読書活動を推進し、授業以外でも本を読む機会を増やし、読解力の向上に努めていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%					○
図形	66.3%					○
変化と関係	51.7%		○			
データの活用	61.8%					○

【考察】

- 「データの活用」の領域では、円グラフや折れ線グラフ、表を正しく読み取り、条件に合った必要なデータを取り出して解答を導くことができています。今後も考えの根拠となる言葉や数を明らかにしながら、友達に説明できるように指導していきます。
- 「変化と関係」の領域では、図を正しく読み取って速さを求めたり、歩く速さを求める根拠となる言葉や数を用いて説明したりすることに課題が見られました。図や文章表現に惑わされることなく、条件を整理して考えることができるよう、繰り返し指導していきます。

令和6年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小 6	全 国	30.3	50.4	16.2	3.1
	大信小	5.3	78.9	15.8	0.0

(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの児童が、自分で学び方を工夫して学習しています。分からないことをそのままにするのではなく、先生や友達に聞いたりタブレットで調べたりと方法を自分で選択して解決することができています。
- タブレットをうまく活用し、分からないことを調べるなど、どのようにしたら情報を引き出せるかを理解できています。今後とも、授業の中でもタブレットを活用し、多様な学び方ができるよう指導していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小 6	全 国	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3
	大信小	5.3	10.5	47.4	31.6	0.0	5.3

(単位 %)

【考 察】

- 本校が目標としている「学年×10分+10分（6年生は70分）」を達成していない児童が多く見られます。児童が励みになるように自主学習の内容を紹介し合ったり、70分の学習時間を達成していない児童には定期的に声をかけたりして、家庭学習の習慣化に努めていきます。
- 学習の手引きをもとに、家庭学習を充実させるために、内容について工夫し、指導していきます。また、メディアとの関わり方についても指導し、家庭学習時間の確保に努めていきます。ご家庭での励ましの声かけをお願いします。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	31.9	48.9	16.0	3.1
	大信小	21.1	68.4	10.5	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 学習した内容について分かっていること、分からないことを自己分析できている児童が多く見られます。分かっていることを生かして課題解決につなげたり、分からなかったことはそのままにせずに解決しようとしていたりしています。
- 自分の学びを振り返る時間を大切に授業を行っています。授業の中で分かったことや分からなかったことを見つめ直すことで、次の授業でもこれまで学習したことを生かして学ぶことができています。今後も自分の学びを見つめ直す振り返りの時間を大切に授業を行っていきます。

4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	47.8	43.8	6.7	1.6
	大信小	26.3	73.7	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 全員が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しているのは、本校が目指す友達と安心して学び合うことのできる学級を土台とした学びのよさを実感できる授業づくりを実践してきた成果です。
- 今後は、友達同士が互いに認め合う機会を授業以外でも増やしていき、児童の自己肯定感が高まるようにしていきます。また、楽しい学校生活を送るためのアンケート（Q-Uテスト）を活用し、学級の実態を把握して、一人一人が安心して学校生活を送れるようなよりよい学級集団づくりを目指していきます。